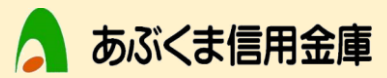


あぶしん景況レポート

2024年1～3月期



総合企画部

Vol.15 2024.4発行

当地区の概況

【業種別天気図】

調査対象:120社

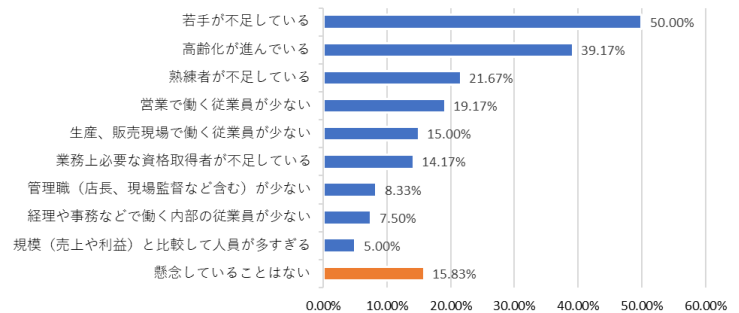
業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2023年 10～12月								▲ 13.3
2024年 1～3月								▲ 10.8
2024年 4～6月 (見通し)								▲ 11.7

- 2024年1～3月期(今期)の業況判断D.I.は▲10.8と、前期比2.5ポイントの改善となった。
業種別に見ると小売業は過去最高の19.0となり、総合D.I.に大きく影響した。
- 2024年4～6月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲11.7と、今期実績比0.9ポイントの悪化を見込んでいる。

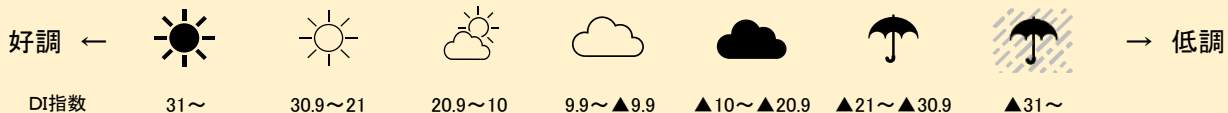
特別調査 - 中小企業における人材戦略について -

- 現在の人材の状況について50.0%が「若手が不足している」、39.17%が「高齢化が進んでいる」と回答した。対応策としては、「中途採用の強化」を挙げた先が55.0%で最も多かった。
- 2024年中の賃金引上げ状況では、47.9%が「賃上げ実施」、52.1%が「賃上げ実施せず」と回答した。賃金を引上げない理由では、「今後の業績見通しが不透明」と回答した先が25.8%だった。

現在の人材の状況について懸念していること



【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ!



あぶくま信用金庫
☎0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを!
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん <http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	5.0	15.0	35.0	30.0	15.0	▲ 25.0
	実績	10.0	20.0	20.0	30.0	20.0	▲ 20.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	15.0	50.0	30.0	5.0	▲ 20.0

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 5.0 ポイント改善し、▲20.0 となった。来期(予想) D.I. は、変わらず▲20.0 を見込んでいる。経営課題に「人件費の増加」と回答した企業の割合が大幅に増えた。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	原材料高	50.0%	70.0%
2	人件費の増加	45.0%	20.0%
3	人手不足	35.0%	35.0%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	55.0%	55.0%
2	経費を節減する	50.0%	80.0%
3	人材を確保する	45.0%	20.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	5.6	50.0	33.3	11.1	▲ 38.9
	実績	0.0	16.7	61.1	5.6	16.7	▲ 5.6
来期 (4-6月)	予想	0.0	16.7	55.6	11.1	16.7	▲ 11.1

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 5.5 ポイント改善し▲5.6 となった。今期(予想)では大幅に悪化すると見込んでいたが、実際は「やや悪い」と回答した先が減少し、D.I. が改善した。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	55.6%	50.0%
2	利幅の縮小	44.4%	44.4%
3	同業者間の競争の激化	27.8%	27.8%
3	仕入先からの値上げ要請	27.8%	22.2%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	83.3%	66.7%
2	経費を節減する	33.3%	38.9%
3	情報力を強化する	22.2%	22.2%
3	提携先を見つける	22.2%	22.2%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	19.0	57.1	23.8	0.0	▲ 4.8
	実績	0.0	38.1	42.9	19.0	0.0	19.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	42.9	38.1	19.0	0.0	23.8

業況判断 D.I. は前期(実績)より 9.5 ポイント改善し、19.0 となった。特別調査では、半数以上が 2024 年中に賃金を上げると回答しており、全業種の中で最も多くなった。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	人手不足	47.6%	33.3%
2	仕入先からの値上げ要請	33.3%	38.1%
2	売上の停滞・減少	33.3%	28.6%
2	人件費の増加	33.3%	19.0%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	42.9%	42.9%
2	人材を確保する	28.6%	42.9%
3	品揃えを改善する	19.0%	23.8%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	15.0	50.0	35.0	0.0	▲ 20.0
	実績	0.0	5.0	60.0	35.0	0.0	▲ 30.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	15.0	45.0	35.0	5.0	▲ 25.0

業況判断D. I. は、前期(実績)より15.0ポイント悪化し▲30.0となった。材料価格は引き続き上昇しているが、料金価格に転嫁できていない先が多い。来期(予想)D. I. は5.0ポイント改善し▲25.0となる見込み。

○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 材料価格の上昇	50.0%	50.0%
1 売上の停滞・減少	50.0%	30.0%
3 人手不足	45.0%	40.0%

○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 人材を確保する	55.0%	40.0%
2 経費を節減する	35.0%	40.0%
3 販路を広げる	25.0%	35.0%
3 新しい事業を始める	25.0%	25.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	9.5	42.9	38.1	9.5	▲ 38.1
	実績	0.0	14.3	42.9	38.1	4.8	▲ 28.6
来期 (4-6月)	予想	0.0	14.3	38.1	38.1	9.5	▲ 33.3

業況判断D. I. は前期(実績)と変わらず▲28.6となった。過半数の企業が残業時間の上限規制によって業務に悪影響があると回答した。対応策の必要性は感じているが、まだなにもしていないと回答した企業は半数だった。

○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	66.7%	38.1%
2 人手不足	52.4%	57.1%
3 利幅の縮小	38.1%	42.9%
3 材料価格の上昇	38.1%	42.9%

○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 人材を確保する	71.4%	52.4%
2 経費を節減する	66.7%	47.6%
3 販路を広げる	42.9%	47.6%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	5.0	85.0	10.0	0.0	▲ 5.0
	実績	5.0	5.0	80.0	10.0	0.0	0.0
来期 (4-6月)	予想	5.0	5.0	75.0	15.0	0.0	▲ 5.0

業況判断D. I. は前期(実績)より10.0ポイント改善の0.0だった。今後は中古住宅需要が高まるとの声もあり、前期に引き続き「情報力を強化する」を重点経営施策にあげた先が多かった。

○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 同業者間の競争の激化	40.0%	40.0%
1 利幅の縮小	40.0%	30.0%

○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 情報力を強化する	40.0%	45.0%
2 販路を広げる	25.0%	30.0%
2 経費を節減する	25.0%	20.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

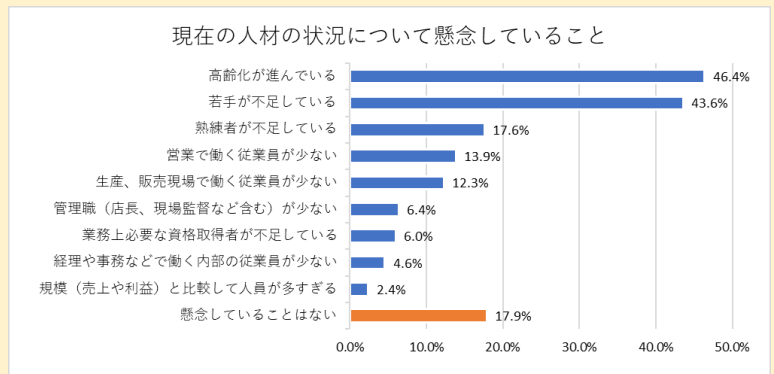
回答社数: 13,294社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2023年 10~12月								▲ 3.3
	2024年 1~3月								▲ 9.3
	2024年 4~6月 (見通し)								▲ 5.4
東北	2024年 1~3月								▲ 27.9

- 全国の2024年1~3月期（今期）の業況判断D.I.は▲9.3、前期比6.0ポイント低下と、4四半期ぶりの低下となった。2024年4~6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲5.4、今期実績比3.9ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の2024年1~3月期（今期）の業況判断D.I.は▲27.9と、前期比12.6ポイント悪化した。2024年4~6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲19.0と8.9ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業における人材戦略について -

- 現在の人材の状況について懸念していることについては「高齢化が進んでいる（46.4%）」と「若手が不足している（43.6%）」の2つが他の選択肢と比べて多くの回答を集めた。
- 2024年中の賃金引上げ状況については、「2%以上の賃上げ実施」は24.2%、「2%未満の賃上げ実施」は24.7%でそれぞれ全体の約4分の1程度、「賃上げ実施せず」は51.0%と半数以上にのぼった。



全国の調査員からのコメント

- 賃金引上げについては価格転嫁ができていないため対応できていない。（電設資材卸 埼玉県）
- 現場の熟練者が高齢になっており、今後は最新機器の導入を行い、熟練者がいなくても製造できる環境を整える。（紙器製造、加工 熊本県）

【調査要領】

1. 調査時期 2024年3月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差（判断D.I.）を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。